

平成23年行政事業レビューシート(外務省)

事業名	特殊困窮邦人保護対策費	担当部局庁	領事局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度		担当課室	海外邦人安全課	課長 一方井 克哉				
会計区分	一般会計	施策名	IV-2 海外邦人の安全確保に向けた取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第9項	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	第二次大戦前後に朝鮮半島出身者と日本で婚姻した邦人女性の多くが、朝鮮人夫とともに朝鮮半島に渡り、戦後、朝鮮半島に残留を余儀なくされ、困窮化したこれら邦人の帰国費や帰国できない者に対する帰国準備費用の支給から始まった制度であり、高齢化し、困窮化した在韓日本人妻の最低限の生活維持及び医療面の支援。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	第二次大戦後の混乱期に朝鮮半島に残留した在韓日本人妻は、ソウル及び釜山にそれぞれ本部を置く芙蓉会、慶州ナザレ園に入会し、現地支援者の援助を受けつつ最低限の生活を営んでいるが、高齢化に伴い医療費が増加するなど、生活は一層厳しいものとなっているため、最低限の生活を維持するための経費及び医療費の支援を行っている。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	30	30	31	27	27	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	30	30	31	27	27	
	執行額	25	30	26				
	執行率(%)	83.6	98	86.8				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	歴史的経緯により、戦後、朝鮮半島に残留を余儀なくされ困窮化した邦人等の生活及び医療面の支援		成果実績	人	106	106	86	88
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	歴史的経緯により、戦後、朝鮮半島に残留を余儀なくされ困窮化した邦人等の生活及び医療面を支援する団体数		活動実績 (当初見込み)	団体	3	3	3	3
						3	(3)	
単位当たりコスト	24, 823(円/1名・1ヶ月)		算出根拠	平成22年度執行額25,617,350÷86(名)÷12(ヶ月)=24, 823円 ※なお、韓国政府公表の最低生計費は₩532,583(邦貨約39,475円/月)である。				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	27,067	26,926					
	計	27,067	26,926					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	受益者は高齢であり、自活することが極めて困難である。一方、韓国には外国人に対する生活保護等の制度が無いため、日本政府の援助無しには生きていくことが難しい。また、現在の本経費に基づく日本政府の支援額は韓国政府が公表する最低生計費（人間らしい生活を営むために必要な最低額）にも達しておらず、高齢となった受益者の困窮状態や必要な医療が受けられていない現状が報告されており、生活状態の改善が不可欠である。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）	
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

外 務 省
26百万円

芙蓉会
ソウル本部
21名
8百万円

生活を維持するための経費
及び医療費の支援

芙蓉会
釜山本部
17名
7百万円

生活を維持するための経費
及び医療費の支援

慶州ナザレ園
48名
11百万円

生活を維持するための経費
及び医療費の支援

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.芙蓉会ソウル本部			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	諸謝金	生活及び医療支援	8			
	計		8	計		0
	B.芙蓉会釜山本部			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	諸謝金	生活及び医療支援	7			
	計		7	計		0
	C.慶州ナザレ園			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	諸謝金	生活及び医療支援	11			
	計		11	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	慶州ナザレ園	在韓日本人妻への生活援助及び医療援助等	11	-	-
2	扶養会ソウル本部	在韓日本人妻への生活援助及び医療援助等	8	-	-
3	扶養会釜山本部	在韓日本人妻への生活援助及び医療援助等	7	-	-
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					